

くらっそ
京都まちなか

たび・くらっそ
2006年夏・地蔵盆の巻



京のまちなか、地蔵盆 やさしい京都にであう旅

モニターツアーにご参加くださる方を募集しています。締切り7月31日

主催：歩いて暮らせるまちづくり推進会議 協力：財団法人 京都市景観・まちづくりセンター

- 開催日 **2006年8月18日(金)~20日(日)**
- 開催地 京都市中京区東部「歩いて暮らせるまちづくりエリア」
暮盤の目のような京都のまち。その真ん中、三条烏丸を中心とする南北約1km、東西約2kmのエリアです。お店やオフィスが多い地域ですが、京の伝統を伝える手仕事と老舗、京町家のまちなみと暮らしが息づくまちでもあります。
- ツアー形式 小グループによるガイドツアー(少々いきあたりばったり?)です。全行程、地元案内人によるガイドが各グループに同行、ご案内いたします。

Aコース：地蔵盆・京の親子絵日記

お町内で普通に行われる地蔵盆にご参加いただけます。
(小学生の子どもさんと保護者の方、各1名以上でご参加ください)

夏休みも終わりに近づく頃に行われる地蔵盆は、子どものころの思い出とともに、京都の人々の心に刻み込まれています。夏休みの一日、京都の親子になって地蔵盆を満喫してください。その思い出を絵日記にして記録し、お町内の方へ贈ります。

おとな1名：**26,000円** こども1名：**18,000円**
二泊、二朝食、ガイドのご案内、町内・お寺のお供え、交流会、保険を含みます。

Bコース：地蔵盆にslow風土を探して

いろんな町内の地蔵盆を訪ねる「まち歩きフィールドワーク」です。

赤い提灯や幔幕、集う人々、お線香の香り、読経の声、通りでの歓談...。夏の終わり、地蔵盆の時期にしか出会えない、なつかしく、やさしく、なごやかな、ひとあじちがう京都の風景を見つけてください。その思い出をアルバムに。

おとな1名：**43,000円**(大人の方のみが対象です)
二泊、二朝食、一夕食、ガイドのご案内、お供え、交流会、保険を含みます。

- ※催行予定参加者数(最多)は、Aコース15名(5家族)、Bコース10名です。
- ※現地集合・現地解散です。集合地まで、解散地からの交通費は含みません。
- ※集合・解散地は「ホテル本能寺会館(京都市中京区御池通河原町西入る)」です。
- ※一部参加、自宅泊など、ご相談ください。参加費についても調整させていただきます。
- ※参加費用から、子どもさんを含めて、お一人500円を、京都市景観・まちづくりセンターの「京町家まちづくりファンド」へ寄付させていただきます。

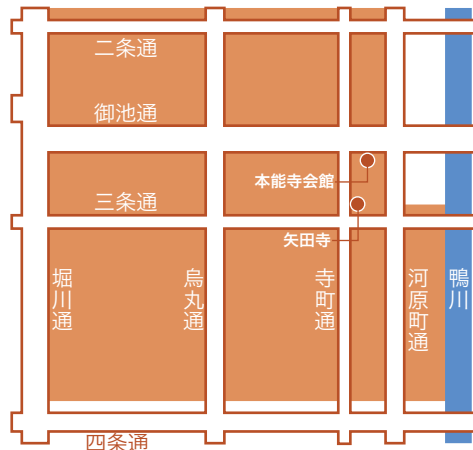
くらっそとモニターツアー

「くらっそ」は、歩いて暮らせるまちづくり推進会議が、京都まちなかの魅力をより多くの方に伝えるために掲げるブランドです。

今回開催するモニターツアーは、京都の外に暮らす京都ファン、京都にまだ馴染んでいない新しい市民の方などを対象に、新しい京都の旅のかたちを提案する実験です。

くらっそは、今回の成果をもとに、コミュニティビジネスとしての可能性を探ってまいります。

歩いて暮らせるまちづくりエリア



Aコース 地蔵盆・京の親子絵日記

Bコース 地蔵盆にslow風土を探して

18日 (金)

午後、お宿に集合。荷物を預けます。宿は「ホテル本能寺会館」。本能寺の変で名高いお寺ゆかりの宿泊施設です。
お散歩に出かけましょう。寺町通は昔、東京極大路と呼ばれました。三条通は東海道の終着点。明治時代にはたくさんの近代建築が建てられ、今も活かされています。京都文化博物館(旧・日本銀行京都支店)では学芸員がご案内する予定です。

Aコースは、寺町三条の**矢田寺へ**。矢田寺のご本尊は地蔵菩薩。矢田寺のご住職から地蔵盆のお話をうかがいます。

Bコースは、宿にチェックイン。宿でくつろいでも、お散歩に出られても結構です。お風呂屋さんにも近くにありま。

夕食は、宿に近い、ご家族でくつろげる、リーズナブルなお店をご紹介します。ご希望があればお知らせください。

夕食は「豆屋源蔵」鴨川納涼床。前身の宿屋「近江初」は大佛次郎、井上靖、山下清など文化人・知識人に愛されました。

19日 (土)

朝食は宿でご用意します。早朝の京都を散策したい、という方。ひと味ちがった朝の風景へご案内いたします。

Aコースは、いよいよ「地蔵盆」にお招きくださる町内へ。土曜の朝はまだ準備の最中かも知れません。ごあいさつをきちんとし、お地蔵様に一礼して、今日の行事の日程などを聞きましょう。きっと子どもたちも集まってきています。

Bコースは、「地蔵盆」が始まろうとしている京都のまちへ。そこここで、祭壇をつくり、提灯をかけ、幔幕をひるげて、お飾りする様子が見られるはず。ちょっとごあいさつして、祭壇のお地蔵様を見せていただきます。

昼食は、町内に近い、リーズナブルなお店をご紹介します。もちろん町内の方に聞くのが一番確かですね。

小さなグループで散策しますので昼食はグループ毎にご案内します。「どこが美味しい?」ご近所の方に聞いてみましょう。

京都の地蔵盆には無くてはならない「数珠廻し」。町内みんなで輪になって、大きな数珠を誂経にあわせて繰り返します。午後には**ゲームやおやつ、福引き**など、子どもたちが楽しめるアトラクションもいっぱい。町内探検も楽しそうですね。

地蔵盆の行事、お参りなどがそここの町内ではじまります。地蔵菩薩の真言「オンカカミサンマエソワカ」の声。輪になって数珠を繰る人々。通りではしゃぐ子どもたち。京町家の家並、マンションやビルの合間に伝統の息吹が感じられるはず。

夕方少し早く、宿でお風呂を浴びて、少し休憩します。宿やご近所で夕食をとっていただいても結構です。

地蔵盆の夜へでかけましょう。夜に数珠廻しや路上パーティーなどをする町内もあります。信長が討たれた元の本能寺があった「**本能学区**」では、学区のみなさんが「**夏まつり**」を楽しんでいます。屋台での買い食いなども楽しんでください。

最後の夜は「**交流会**」。今夜はゆっくり、飲んで語りましょう!みなさんが撮ってきた**写真やビデオ**を見ながら、地蔵盆を通じて感じた京都のこと、あなたの街に息づく伝統や温かい人々のつながりなど、いっぱい聞かせてください。

20日 (日)

朝食は宿でご用意します。ご案内はこの日の午後まで。その後の京都での日程や行き先もどうぞご相談ください。

最近、**地蔵盆の行事を日曜日**の一日で済ませる町内も増えてきました。この日が**一番たくさんの町内**が行事を行っているはず。昨日はまだ見られなかった、ゆかしい風景にも出会えるかもしれません。もう一度、一緒に歩きましょう。

ご用意するテストツアーの行程は、**昼食の前に終了**します。いよいよお別れです。心ばかりのお土産も考えています。

上の日程表の内、白地にグレー文字の部分は下記の「**ご案内費用**」に含まれません。別途ご負担が必要です。

「地蔵盆」とは

地蔵菩薩の縁日8月22、23日に行われてきた伝統行事です。
あの世とこの世の境を見守るお地蔵様に、子どもたちの健康を祈ります。主役は子どもたち。舞台は各町内です。
町内ごとに伝わる地蔵尊をまつり、数珠まわしなどでご近所のきづなを深めます。
現在では縁日に近い週末に行く町内が多くなりました。大日如来(8月27、28日が縁日)をお祭りする町内もあり、地蔵盆と同時期に行われることもあります。

京都のまちの「町内」

京都のまちは、東西南北の通りで、碁盤の目のようです。その中にたくさんの「町内(町内会)」があります。京都のまちの町内は、他の多くのまちとは少しちがっています。
辻(交差点)から次の辻までの、道路を挟んで向かい合う家々がひとつの町内です。これを「**両側町**」と言います。
一番小さなお近所の集まりである「**町内**」は、コミュニティの基本単位。地蔵盆は町内の一番大切な行事と言えるでしょう。

歩いて暮らせるまちづくり

平成12年から活動をつづけ、今年で7年目を迎えました。毎年11月には「**まちなかを歩く日**」を開催しており、今年11月11、12日に開催します。京都の都心を「安心して歩ける、歩いて楽しいまち」にするために、交通安全、放置自転車問題、マンション問題や新旧住民の交流と共存、まちなかの伝統や文化の再発見、学校との交流などを進めています。
3年前からは、全国から京都を訪れる修学旅行生のみなさんを京都のまちなかへご案内し、地元の方々と一緒に交流していただき、今の京都のほんとうの姿を感じていただくプログラムを提供しています。

参加お申し込みFAXフォーム ご記入の上、ファックスまたはEメールでお申し込みください。

参加ご希望コース

いずれかを選んでください。

Aコース
地蔵盆・京の親子絵日記
小学生を含むご家族が対象です。

ご案内費用のご負担
おとな1名 **26,000円**
子ども1名 **18,000円**

二泊、二朝食、ガイド、案内料、交流会、お供え保険、京町家まちづくりファンド寄付を含む

Bコース
地蔵盆にslow風土を探して
おとなの方が対象です。

ご案内費用のご負担
1名 **43,000円**

二泊、二朝食、一夕食、ガイド、案内料、交流会お供え、保険、ファンド寄付を含む

代表の方のお名前 女 男 歳

電話 _____ E-mail _____

FAX _____

携帯電話 _____

住所など _____

※ご参加受付のご連絡、詳しい資料のご送付は、ファックスまたはEメールを優先いたします。どちらもお使いでない場合は、必ずご住所(郵送先)をお書きください。

同伴の方のお名前 女 男 歳

同伴の方のお名前 女 男 歳

同伴の方のお名前 女 男 歳

同伴の方のお名前 女 男 歳

FAXご送付先：**075-213-4495** Eメール：**info@arukura.net** までお送りください。